

京都市交響楽団

完全無欠！カンブルランの「春の祭典」
武満徹「夢の時」&ハイドン「ロンドン」交響曲とともに



©Tatsuo Sasaki

©読売日本交響楽団

第640回定期演奏会

The 640th Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

2019

11/16^土・11/17^日

午後2時30分開演（午後1時30分開場）

京都コンサートホール

Sat, November 16, 2019 / 2:30PM Sun, November 17, 2019 / 2:30PM
Kyoto Concert Hall

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

開演前（午後2時ごろから）は
指揮者による「プレトーク」でお楽しみください。
「プレトーク」はホール・ステージ上にて開催します。

入場料 **S**¥5,000 **A**¥4,500 **B**¥3,500 **P**¥2,000（舞台後方席）

当日残席がある場合のみ発売 ▶ 学生券&後半券 **S**¥2,000 **A**¥1,500 **B**¥1,000

※学生券は開演1時間前から（学生証をご提示ください）、後半券は開演後から休憩終了（後半開始）まで発売（学生券は、席種は選べますが、座席指定はできません）。

- ◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」（有料・要予約）をご利用ください。（お子様お1人につき1,000円/2019年11月8日までに京響075-711-3110へお申し込みください）
- ◆10枚以上のチケットお申し込みには団体割引（10%OFF）があります。京響（075-711-3110）までお問い合わせください。

指揮 シルヴァン・カンブルラン
Conductor : Sylvain Cambreling

武満徹：夢の時～オーケストラのための
ハイドン：交響曲第104番ニ長調「ロンドン」Hob.I:104
ストラヴィンスキー：バレエ音楽「春の祭典」

Toru Takemitsu : Dreamtime for orchestra
Haydn : Symphony No.104 in D major "London" Hob.I:104
Stravinsky : "Le sacre du printemps" ballet music

プレイガイド（電話予約）

- 京都コンサートホール… (075)711-3231 ●ロームシアター京都… (075)746-3201
- 24時間オンラインチケット購入 <https://www.e-get.jp/kyoto/pt/>
- チケットぴあ… (0570)02-9999 Pコード133-263
- ローソンチケット… (0570)000-407 Lコード54672

お問い合わせ

京都市交響楽団 (075)711-3110 <https://www.kyoto-symphony.jp/>
京都コンサートホール (075)711-3231 <https://www.kyotoconcerthall.org/>

助成：文化庁文化芸術振興費補助金
（舞台芸術創造活動活性化事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会

公益財団法人ファイニクス文化財団

◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。 ◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。

主催：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団



協賛：ローム株式会社

協力：株式会社ドルチェ楽器

後援：(株)エフエム京都

発行：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。

Rohm Music
Foundation
ロームミュージックファンデーション





©Marco Borggreve

フランスの指揮者シルヴァン・カンブルランは壮大なアイデアに富む音楽家である。刺激のかつ色彩感あるドラマティックな演奏で聴衆の心を掴む能力に長ける一方で、その獨創性は音楽学の徹底的な知識に根ざしている。彼の天賦の才能は、バーデン＝バーデン・フライブルクSWR交響楽団の首席指揮者(1999-2011年)及びクラングフォーラム・ウィーン(現代音楽アンサンブル)の首席客演指揮者としての斬新なプログラムと現代音楽への積極的な取り組みにより、十分に証明されているといえよう。カンブルランは、2018/2019シーズン初めからハンブルク交響楽団首席指揮者に就任。読売日本交響楽団では2010年4月から2019年3月まで9年間常任指揮者を務め、2019年4月からは桂冠指揮者に就任した。また、巨匠セルジュ・チェリビダッケの後任として、2002年からドイツ・マインツのヨハネス・グーテンベルク大学で指揮科の招聘教授を務めている。オペラ分野で華々しい活躍を見せるカンブルランは、2012-2018年シュトゥットガルト歌劇場の音楽総監督を務め、1993年にフランクフルト歌劇場音楽監督に就任する前の10年間は、ベルギー王立モネ劇場の音楽監督も務めた。革新的さが目を引いたその演目には、ザルツブルク音楽祭での「ペレアスとメリザンド」「トロイアの人々」、フランクフルトでの「ヴォツェック」「フィデリオ」と「ニーベルングの指輪」があげられる。また、パリ国立オペラでも「アッシジの聖フランチェスコ」「ペレアスとメリザンド」「カーチャ・カバノヴァ」「三つのオレンジへの恋」など、数多くの演目を指揮して成功を取っている。オペラ界のみならず、カンブルランはポストを持つハンブルク響、読売日響、クラングフォーラム・ウィーンと併せて、世界の一流オーケストラへもバランスよく客演を重ねている。これまでに、ウィーン・フィル、ベルリン・フィル、ストックホルム響、ロンドン響、ミュンヘン・フィル、パリ管、クレーヴランド管、ロサンゼルス・フィル、モントリオール響などを指揮している。想像力豊かなプログラミングを大いに好むカンブルランは、オリジナリティ溢れる企画でも知られている。選曲では、例えばハイデンとメシアン、あるいはベリリオーズ「ファウストの劫罰」をシューマン「ゲーテのファウストからの情景」と共に、といった対照的だが関連性のある作曲家や作品を並置することが得意であり、最も大胆な彼のプロジェクトの中には、メシアンの3大作品「トゥーランガリラ交響曲」「彼方の閃光」「我らの主イエス・キリストの変容」の3夜連続演奏会がある。2009年ドイツのエコー・クラシック音楽賞「年間最優秀指揮者賞」と最優秀オーケストラ作品CDに贈られるドイツ・シャルプラッテン賞を受賞。さらに2010年SWR響とのメシアン作品の録音でフランスMIDEM音楽賞の最優秀現代音楽作品部門賞を受賞。2012年にはドイツ連邦共和国功労勲章(功労十字小綬賞)を授与された。



©井上写真事務所 井上嘉和

第640回 定期演奏会

The 640th Subscription Concert
of the Kyoto Symphony Orchestra

2010年4月から2019年3月まで読売日響で常任指揮者を務め、2019年4月からは同響の桂冠指揮者に就任したカンブルランが遂に京響へ！武満が振付家キリアンとアポリジニの神聖な祭典を体験した時の印象をもとに作曲した「夢の時」と、ハイデン最後の交響曲「ロンドン」と併せて、鮮烈かつ革新的なリズムとサウンドが刺激的な血湧き肉躍るストラヴィンスキー「春の祭典」に、世界でカリスマ的な人気を誇るフランスの巨匠が迫ります！

京都市交響楽団 Kyoto Symphony Orchestra

日本唯一の自治体直営オーケストラとして1956年創立。楽器講習会や音楽鑑賞教室、福祉施設への訪問演奏等にも積極的に取り組み、2007年「第25回京都府文化賞特別功労賞」「京都創造者大賞2007」受賞。2008年4月第12代常任指揮者に広上淳一が就任。2014年4月からは常任指揮者兼ミュージック・アドバイザーに広上淳一、常任首席客演指揮者に高関健、常任客演指揮者に下野竜也が就任。2015年「第27回ミュージック・ペンクラブ音楽賞」クラシック部門「オペラ・オーケストラ部門賞」及び広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞。2015年6月には広上淳一の指揮のもと18年ぶりのヨーロッパ公演で成功を収め、2016年は創立60周年を記念して国内ツアー6公演と京都市内各所で「ふらっとコンサート」全10回を開催し、平成28年度地域文化功労者表彰を受ける。2017年1月「第37回(2016年度)音楽クリティック・クラブ賞」本賞、同年3月には「第29回ミュージック・ペンクラブ音楽賞」クラシック部門「現代音楽部門賞」を受賞。2017年4月からは下野竜也を常任首席客演指揮者に据えて広上・高関・下野による強靱な3人指揮者体制を確立し、名実ともに文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。

2019 9/21(土)から発売!

❖ 次回予告 ❖

2019 10/11(金)から発売!

特別演奏会「第九コンサート」

名匠スダーン、渾身の「歓喜の歌」!
詩情豊かなメンデルスゾーンの序曲を添えて

日時: 2019年12月27日(金) 午後7時開演
2019年12月28日(土) 午後2時30分開演

会場: 京都コンサートホール
指揮: ユベール・スダーン 合唱: 京響コーラス
独唱: 吉田 珠代 (ソプラノ) 八木 寿子 (アルト)
清水 徹太郎 (テノール) 近藤 圭 (バリトン)
曲目: メンデルスゾーン: 序曲「静かな海と楽しい航海」op.27
ベートーヴェン: 交響曲第9番二短調「合唱付」op.125

特別演奏会「ニューイヤーコンサート」

新春を彩るロマンティック・シューマン
精鋭クレメンス・シュルト&岡田奏のフレッシュな共演!

日時: 2020年1月12日(日) 午後2時30分開演
会場: 京都コンサートホール
指揮: クレメンス・シュルト
独奏: 岡田 奏 (ピアノ)
曲目: シューマン: 歌劇「ゲノヴェーヴァ」op.81から序曲
シューマン: ピアノ協奏曲イ短調op.54
シューマン: 交響曲第3番変ホ長調「ライン」op.97



©N.Ikegami



©Marco Borggreve



©Kazashito Nakamura

入場料 S ¥5,500 A ¥4,500 B ¥3,500

入場料 S ¥5,500 A ¥4,500 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)